

学校教育目標	『本物宿せ！本宿小』				
	◇ 主体的に探究し、考える力を育てます。(知) ◇ 自分や相手のよさを見つけ、多様性を尊重し合う心を育てます。(徳) ◇ 体を動かすことを楽しみ、健康・体力を高めようとする態度を養います。(体) ◇ 地域の人から学び、わがまちをよりよくしようとする心を育てます。(公) ◇ 夢や目標をもって、持続可能な社会を創造しようとする態度を養います。(開)				
学校概要	創立 64 周年	学校長 松比良 聡夫	副校長 内田 宏	2 学期制	一般学級：20 個別支援学級：5
	児童生徒数： 639 人	主な関係校： 本宿中学校・鶴ヶ峰中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> (自分自身を高めていく力)	本宿中学校 本宿小学校	人や自然との関わりの中で 豊かな心情を育み 自ら高められる子ども  ・「自分自身を高めていく力」を引き出す学習指導のあり方について、発達段階・学年に応じた具体化した資質・能力をもとに探る。(含む教育課程の拡充) ・自己を理解する姿勢や他者を理解する態度を育成する。小中であつながりをもたせた手立てについて探る。 ・特別支援教育の視点をもった各教科等の学習の充実を目指す

中期取組目標	家庭・地域・諸機関と連携・協働したり、情報機器を活用したりして、主体的・対話的で深い学びを目指します。 ・本物体験とICT活用を充実させ、主体的に学び、思考力・判断力・表現力を育てます。 ・学級活動や縦割り活動、道徳・人権教育を充実させ、多様な他者と自己を尊重する心を育みます。 ・健康の大切さを学び、主体的に運動し、生活習慣を整えようとする態度を養います。 ・保護者・地域・諸機関・ボランティアとの連携・協働をより充実させ、主体的・対話的に学ぶ態度を養います。
--------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td style="background-color: yellow;">授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>校内研究推進委員会</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	校内研究推進委員会	・学年研で教科・単元についての教材研究、個に応じた指導をさらに充実させる。・研修、公開(オープン)授業などを通して、本宿小の児童の実態に合った単元開発や指導計画の作成に努めるとともに、助言し合いながら指導の改善を図る。・ICT活用、体験を通して他者との対話の場づくりにより、児童が学習意識を高めていけるようにする。
知	授業改善				
担当	校内研究推進委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td style="background-color: yellow;">人権教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童理解・道徳部</td> </tr> </table>	徳	人権教育	担当	児童理解・道徳部	「居心地の良い学校づくり」を目指す。 ①横浜プログラムを定期的に取り入れ、安心できる人間関係づくりや自己肯定感を高めることにつなげる。 ②人権教育の充実をはかる。③SOSが出せているかなど、児童の様子を丁寧にとらえる。
徳	人権教育				
担当	児童理解・道徳部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td style="background-color: yellow;">健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育・保健部</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	体育・保健部	①学習や生活習慣の改善のため、家庭と連携し、学校保健委員会での取組を充実させる。②進んで運動を楽しむ子の育成のため、本宿体操等の活動に継続して取り組む。
体	健康教育				
担当	体育・保健部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td style="background-color: yellow;">地域連携</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>総合・生活・地域連携</td> </tr> </table>	公開	地域連携	担当	総合・生活・地域連携	①「他者と関わりながら解決しようとする態度」「相手意識」「地域の一員」としての自覚を育むために、体験や地域の方々に学ぶ場面、様々な考えに触れる授業づくりに取り組む。②児童、教職員共に地域の「ひと・こと・もの」への視野を広げられるよう、地域学校協働本部等と協力できることを考えていく。
公開	地域連携				
担当	総合・生活・地域連携				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ対策委員会	児童の様子のみとり、定期的なアンケートや児童や保護者との面談を通して、いじめの未然防止、早期発見に努める。情報部や道徳部とも連携し、情報モラルの指導を計画的に行う。またいじめに対する措置では、組織的に対応し、児童や保護者との信頼関係を大切に支援・指導に取り組む。
いじめへの対応					
担当	いじめ対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">人材育成・組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>主幹・教務部</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	主幹・教務部	①学校運営組織見直し、特に学力向上にかかわる部署を立ち上げ、校内研修も検討、運営する。②学年、ブロックを基盤とした授業づくりや児童理解を充実させるために、週2回の学年研を設ける。③「マイテーマ」を個人が設定し授業発信等を行い教職員のブラッシュアップを図る。自己観察につなげる。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	主幹・教務部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援教育委員会</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援教育委員会	①個別級在籍児童の教育的ニーズを把握し、教師間で情報共有しながら個に応じた支援をしていく。②特別な支援を必要とする児童について、個別の教育支援計画・指導計画を作り、保護者の理解を得ながら支援する。学年研やケース会議等で支援の方法を検討し、個に応じた支援を充実させる。③特別支援教室の改善を図る。
特別支援教育					
担当	特別支援教育委員会				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">異学年交流</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特活部・スマイル委員会</td> </tr> </table>	異学年交流		担当	特活部・スマイル委員会	①スマイル活動では、作業時間を減らし、交流の時間を確保することで、仲を深める。②前年度に委員会・クラブ共に見学を行い、理解を深めてから活動に入っていく。見通しをもってスタートすることで、自分たちで年間計画を立て、主体的に活動することにつなげる。③教室配置を工夫して、日常的に関わる機会を増やす。
異学年交流					
担当	特活部・スマイル委員会				
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td>b9</td> </tr> </table>	担当	b9			
担当	b9				
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td>b10</td> </tr> </table>	担当	b10			
担当	b10				